

Second International Conference of Assistance Dog Partners in Hyogo

第二回「国際アシスタンス・ドッグパートナーズ会議」in兵庫

共に、生きること
Live together



2010年10月29日(金)~31日(日)

芦屋市健康福祉センター:兵庫県芦屋市呉川町14-9

水と生きる SUNTORY

The PREMIUM MALT'S

サントリー ザ・プレミアム・モルツ



モンドセレクション
最高金賞の香り、コク、余韻。



MONDE SELECTION Brussels-
WORLD SELECTION OF QUALITY
2005年・2006年・2007年 中級受賞



飲酒は20歳を過ぎてから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒はなによりも適量です。のんだあとはリサイクル。

<http://suntory.jp/PREMIUM/> サントリー酒類株式会社



もっと、もっと、やさしい日本、
共に生きる環境創りのために

Towards
A More Considerate Japan



ADIロゴマーク

障がいのある人も
障がいのない人も
補助犬と暮らしている人も
補助犬を選ばれなかった人も
私たちは同じ時代
同じ時間を共有しています

People with special needs and people without,
people who choose to live with assistance dogs
and people who do not:
we are all living in the same age
and sharing the same time.

一緒に呼吸し
お互いの尊厳を保ちながら
生きていくために

We breathe the same air and must
respect each other, in order to continue living
happily together.

この会議は
自由に話し合い
率直な意見を交わすことによって
お互いを理解しあう場所です

This conference is a place for free speaking
and the frank exchange of opinions
to reach deeper understanding
between people.

この会議に参加された人々が
地球上の離れた場所であっても
今後も協働できることが
共に生きる道と信じています

The participants of this conference
may have come from different parts of the world,
but we believe that we can work together
to find ways of living together.



Contents

大会宣言「共に生きる環境創りのために」	1
目次	2
第2回IADP国際会議 10月29日30日31日プログラム	3
ご紹介 主催・ご後援・ご協力・ご協賛・物品提供	4
写真紹介 第1回IADP国際会議/IAADP前会長 故Ed Eames博士を偲んで	5
兵庫県 井戸敏三知事 ご挨拶	6
芦屋市 山中 健市長 ご挨拶	8
IAADP会長 Toni Eames「I welcome this exciting opportunity」	10
実行委員会 大川瑜美子実行委員長「補助犬が、いかに生きる力となるか」	12
実行委員会 藤本泰雄実行副委員長「補助犬の健全な普及をめざして」	14
海外の補助犬ユーザー紹介	16
Keynote講演 Corey Hudson紹介	17
日本の補助犬ユーザー紹介	17
総合プロデューサー 有馬もと「共生、共感、協働」	18
ご紹介 推進委員会・ご支援団・実行委員会	巻末
広告ページ	20

監 修：有馬もと 冊子編集長：MAYUMI（福）日本聴導犬協会

編集協力：矢澤昌子、村澤久実子、佐橋菜月

印 刷：デジタルグラフィック社

©第2回「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議」in兵庫実行委員会

無断転載・転用は法律により禁止されています



第2回「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議」in 兵庫 プログラム

内 容	開始時間	場 所	備 考
2010年10月29日（金）			
①開会式	9時30分～10時40分 (受付9時00分から)	芦屋市保健 福祉センター	兵庫県知事、芦屋市長、実行委員 長、副委員長、国際補助犬使 用者などの挨拶
②補助犬パレード in 芦屋	11時00分～	同センター	芦屋市長挨拶。スタート
●昼食〔各自でご用意ください〕	13時～	神戸三宮	特に、神戸市庁舎最上階コン フォートがおすすめです
③補助犬パレード in 三宮	13時50分～14時30分	神戸市庁花時計前 神戸市庁舎 (雨天集合場所)	神戸市長挨拶。スタート
④チャリティ食事会&補助犬ユー ザーとの交流会	19時00分～21時20分 (受付18時30分から)	ノボテル甲子園 2階甲陽	鼎談：田中康夫他。ばんぱひろ ふみトークと歌
2010年10月30日（土）			
⑤ほのぼの交流会 補助犬使用者への聞きたい、知 りたい。	9時30分～11時30分 (受付9時00分から)	芦屋市保健 福祉センター 3F 多目的ホール	日本のこどもと国内外の補助犬 パートナー
●昼食〔各自でご用意ください〕	11時30分～12時15分		
⑥特別講演： アメリカにおける補助犬普及の鍵	12時15分～13時00分		世界最大補助犬ユーザーの会 (IAADP) 会長Toni Eames
⑦パネルディスカッション アメリカ、カナダ、日本におけ る補助犬普及の動向	13時15分～15時45分		国内外の補助犬パートナー
⑧ワークショップ 1：補助犬使用者の権利と義務 2：補助犬の健康管理	15時45分～16時45分		ナビゲーター 1：IAADP会長Toni Eames 2：大橋文人(大阪府立大学教 授)、旗谷昌彦(獣医師)
2010年10月31日（日）			
⑨特別講演：世界最初で最大の介 助犬協会CCI成功のひけつ	9時30分～11時00分 (受付9時00分より)	芦屋市保健 福祉センター 3F 多目的ホール	世界最大の介助犬育成団体 CCI (Canine Companion for Independence) CEO. Corey Hudson
トーク：補助犬使用者と補助犬育 成団体との理想の関係創り	11時00分～12時00分		Hudson氏とCCI聴導犬使用者、 介助犬使用者
●昼食〔各自でご用意ください〕	12時00分～13時00分		
⑩会場に参加する、補助犬ユー ザーの体験談と補助犬デモン ストレーション	13時00分～15時30分		国内外参加補助犬使用者、 及び補助犬育成団体
⑫閉会の辞	15時30分		藤本泰雄実行副委員長

国際会議開催中、大橋文人教授(大阪府立大学)、旗谷昌彦獣医師、藤田動物病院、中島動物病院のお力添えをいただきます。

※プログラムの内容は、変更されることがあります。

第2回国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議 in 兵庫

- 主 催：第2回「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議」in 兵庫 実行委員会
事務局：(福)日本聴導犬協会 関西支部
- ご 後 援：法務省、兵庫県、芦屋市、神戸市、芦屋市教育委員会、(財)全日本ろうあ連盟、(社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会、(福)日本盲人会連合、(福)日本身体障害者団体連合会、(社)全国脊髄損傷者連合会、(財)日本障害者リハビリテーション協会、(福)兵庫県社会福祉事業団、兵庫県立総合リハビリテーションセンター、(財)兵庫県視覚障害者福祉協会、(社)兵庫県聴覚障害者協会、(特)兵庫県難聴者福祉協会、(特)神戸ろうあ協会、(特)尼崎ろうあ協会、(社)日本獣医師会、(社)日本小動物獣医師会、(社)日本動物病院福祉協会、(特)全国盲導犬施設連合会、全日本盲導犬使用者の会、日本聴導犬ユーザーの会、芦屋市医師会、神戸市医師会、岐阜県耳鼻咽喉科医会、芦屋市歯科医師会、芦屋市商工会、西宮商工会議所、ひょうご聴障ネット、兵庫手話通訳問題研究会、聴導犬問題対策委員会、(株)工研、ADJ(アシスタンス・ドッグ・ジャパン)
- ご 協 力：芦屋市保健福祉センター、芦屋市福祉事務所障害福祉課(手話通訳、及び要約筆記派遣)、柿沼美紀、中野安紀、渡邊恭子、Kuniko Mitrovic(邦子・ミトロビチ)、八代佳子、杉本紘子、ノボテル甲子園、ホテルニューオオタニ大阪、大阪コミュニケーションアート専門学校、日本聴導犬・介助犬訓練士学院
- ご 協 賛：日本ケミカルリサーチ(株)、薄井一美、神戸あじさいライオンズクラブ、(福)日本聴導犬協会、(株)ザ・タナベカンパニー、サントリーホールディング(株)、デビフペット、(株)大阪コミュニケーションアート専門学校、(福)日本聴導犬協会関西支部、千里ハウジング(株)、(有)ネットワン、浪速工務店、藤本歯科、大川朗子、岐阜県耳鼻咽喉科医会、あおぞら司法書士法務総合事務所、(株)有馬芳香堂、みずほインベスターズ証券(株)神戸支店、(株)ジェービーエス、(株)インシュアランスサービス、(福)食鶴喜樂苑、(株)ダビオ、(株)水元、神戸須磨ライオンズクラブ、田嶋(株)、六甲バター(株)、芦屋ハーモニーライオンズクラブ、岸歯科医院、フロインドリーブ、聴導犬問題対策委員会、未来カンパニー、塚本建築設計事務所、日本建設(株)大阪支店、(学)大前学院、ギメルトレーディング(株)、平田精作、多田羅猛、大川瑜美子、藤本泰雄、芦田和子、田邊芳美、岸 壽子、梶原忠広、小坂祐史、(株)工研、長田商店(株)、(株)JT大阪高槻支店、武田寿子、芦屋石油、大阪トヨタ自動車(株)箕面店、(株)N・フィールド、日興コーディアル証券(株)西ノ宮支店、山本好男、遠藤一枝、城純一、(有)西城工業、内橋千尋、湧永朋子
- 物品提供：MCC食品(株)、田辺三菱製薬(株)、コラン・ジャパン、六甲バター(株)、サントリーホールディング(株)、サンテックオプト(株)、デビフペット(株)、(福)日本聴導犬協会、明治乳業(株)、(株)ジャムオブワンダー

(敬称略、順不同)

2009年9月に急逝されたEames博士の死を悼みます。IADP国際会議を通して、IAADP元会長故Ed Eames博士の遺志を私たちは継承していきます。写真は、2004年第1回「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議」in 松本での博士の遺影。



▲2004年11月 第1回「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議」in松本 開催



▲まつもと市民芸術館にて柿落しのプログラムの1つとして開催



▲前IAADP会長 故Dr.Ed Eames



▲日比谷公園にて



▲厚生労働省社会参加推進室室長と会見
日本での補助犬普及を訴える



▲居酒屋にて



▲アメリカ、カナダ、イギリス、及び日本の補助犬使用者と盲導犬、介助犬、聴導犬による会議3日間



第2回「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議」in兵庫の開催に寄せて

兵庫県知事 井戸 敏三

ようこそ兵庫へ。

第2回「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議」in兵庫が盛大に開催されます。国内外から参加いただいた皆様に心から歓迎します。

本格的な人口減少社会を迎えようとする今、一人ひとりが持てる力を存分に発揮し、地域や社会のなかでいきいきと活動できる社会を実現していかなければなりません。

兵庫県は、全国に先駆けて「福祉のまちづくり条例」を制定し、高齢者や障害者に配慮した施設の整備や、「みんなの声かけ運動」の展開など、ハード・ソフト両面から人にやさしい生活環境づくりを進めてきました。

また、「ひょうごユニバーサル社会づくり総合指針」に基づき、年齢、性別、障害、文化などの違いにかかわらず、誰もが安心して暮らし、元気に活動できるユニバーサル社会の実現をめざし、積極的に取り組んでいます。

とりわけ、補助犬の普及と補助犬ユーザーの社会参加促進については、先導的な取組を展開してきました。身体障害者補助犬法施行前の平成12年、全国に先駆けて県独自の介助犬の認定・登録制度を設けました。その認定第1号の介助犬シンシアの活躍は、後に「シンシア～介助犬誕生ものがたり」としてテレビドラマ化されています。また、社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団は、平成15年に介助犬の、16年には聴導犬の西日本初の認定機関となり、その普及に力を注いでいます。

県民への普及啓発だけでなく、県自身の率先した取組も不可欠です。このため、すべての県立施設に補助犬ステッカーを掲示し、利用しやすい環境整備を図るほか、県職員の行動マニュアル「補助犬に会えたら」を作成し、職員一人ひとりの対応の徹底を図っています。

今回の大会では、補助犬の普及に向けた討論や情報交換が行われるほか、より多くの方々の関心が高まるよう街中での補助犬パレードも行われます。また、補助犬ユーザーと子どもたち、地域団体等の交流会も開催されます。この大会が実り多きものとなり、ここ兵庫からユニバーサル社会づくりに取り組む人々の輪が大きく広がっていくことを願っています。

開催にご尽力いただいた皆様に感謝するとともに、大会のご成功とご参集の皆様のご健勝での活躍を心からお祈りします。

Message for the Second International Assistance Dog Partners Conference in Hyogo

Toshizo Ido, Governor of Hyogo Prefecture

Welcome to Hyogo.

It is my pleasure to welcome all participants from all over the world to the Second International Assistance Dog Partners Conference in Hyogo.

Faced with an ever shrinking population, we need to create a society where every one of us can use our abilities to the fullest and enjoy an active life in local communities.

Hyogo Prefecture first enacted the Ordinance on the Promotion of a Welfare Community in Japan and has been striving to create an environment where everyone can live a comfortable life through establishing facilities and centers for seniors and disabled persons, a campaign to promote neighborly charity, and other projects.

Based on the Comprehensive Guideline for Universal Society Hyogo, we are also taking concrete steps to create a society where people, regardless of age, gender, disability, or culture can live in peace and take on active roles.

We have been playing a leading role in promoting the use of assistance dogs and social involvement of their users. In 2000, prior to the implementation of the Law Concerning Assistance Dogs for the Disabled, our prefecture was the first to establish a certification and registration system for assistance dogs. The first certified assistance dog, Cynthia, inspired a TV drama called “Cynthia-The Service Dog.” Besides this, the Hyogo Social Welfare Corporation became the first certification agency in western Japan for assistance dogs in 2003 and hearing dogs in 2004.

Not only promoting awareness and education on assistance dogs to the public, Hyogo has also undertaken initiatives to create a favorable environment, such as posting stickers to show permission for assistance dogs in all prefectural facilities. We now have a manual for prefectural staff titled “When You See an Assistance Dog” as a reference for dealing with assistance dogs.

During the conference, in addition to discussions and information exchanges for the promotion of assistance dogs, parades of assistance dogs on the street will also be held to increase awareness and attention. A forum of exchange between assistance dog partners, children, and community organizations is also planned. I hope that this conference will be a fruitful one and contribute to, and further the creation of, a universal society.

I would like to express my gratitude to those of you who worked so hard to make this conference possible. I sincerely wish for the success of this conference as well as the prosperity and good health of all participants.





芦屋市での補助犬ユーザー国際会議 開催へのご挨拶

芦屋市長 山 中 健

第2回「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議」in兵庫にご参加いただきありがとうございます。
います。

2004年に日本で初めての会議が「松本市」で開催され、第2回を「芦屋市」において、また「市制70周年」の記念すべき年に皆さまをお迎えできることを嬉しく、光栄に思います。多くの方々のご支援と世界各地からご参加いただきました皆さまに感謝を申し上げ、心から歓迎いたします。

補助犬につきましては、2002年10月に「身体障害者補助犬法」が施行されて以降、メディアにも多く取り上げられるようになり、社会の関心は高まっております。しかし、欧米に比べると、日本ではまだ理解が十分とはいえず、飲食店などで補助犬同伴での入店を断られることがあるのも実状です。

身体の不自由な人の目、耳、手足となって活躍し、日常生活はもとより社会参加するためには『必要』な存在であること、特別な訓練を積み『安全』であることをひとりでも多くの方に理解していただく必要があります。

我々は街で補助犬を見かけた時、パートナーのために一生懸命に仕事をしているので、声をかけることは控えます。気が散ると事故につながりかねません。

この会議では、補助犬と一緒にパレードをするなど、より近くで接することができますので、補助犬パートナーの方との交流を通して、また補助犬たちと直接ふれ合うことで、より理解を深めていただく有意義な機会になることを期待しております。

芦屋市では「障がいのある人もない人も、住みなれた地域で自分らしく輝いて暮らせるまち 芦屋」を目指し、福祉施策に取り組んでいます。本年度は道路のバリアフリー化事業に力をいれ、安全と環境を重視したまちづくりを進めています。

また、平成16年1月に『芦屋庭園都市』を宣言し、「世界の人々から 一度は訪れてみたいと言われるようなまち」の実現に向け、市民の皆さんと一緒に清潔で花いっぱいのもちづくりに取り組んでいます。ぜひこの機会に、北に六甲の山並み、南に瀬戸内の海を望む、風光明媚な芦屋の街並みと木々や花の香りを感じていただけたら幸甚に存じます。

結びに、会議の成功に向けてご尽力された日本聴導犬協会をはじめとする関係者の皆さまに敬意を表するとともに、皆さまの熱意溢れる取り組みが大きく実を結び、補助犬の健全な普及につながりますことを願い、ご挨拶といたします。

Honor to welcome for the second "IADP" in our city

Ken Yamanaka, Mayor of Ashiya City

Thank you very much for participating in the Second International Assistance Dog Partners (IADP) Conference in Hyogo.

It is a great pleasure and honor to welcome you here in Ashiya City for the second conference for Assistance Dog partners. Ashiya is celebrating its 70th anniversary as a city this year. In 2004, the first conference for Assistance Dog partners was held in Matsumoto City. I would like to express my heart-felt gratitude for the support and encouragement we have received from partners from all across the world. Thank you for participating in the conference.

Since the implementation of the Law of Assistance Dogs for Persons with Physical Disabilities in October 2002, Assistance Dogs have appeared in mass media and received increased attention from the public. However, compared with Europe and North America, assistance dogs are not well understood or accepted in Japan. There are times when they are not allowed in restaurants or other facilities.

Assistance dogs are the eyes, ears, hands or feet of disabled persons. We need the public to understand that these dogs are indispensable to disabled persons in their daily lives and their participation in society. It is also important for the public to understand that these dogs are well-trained and do not pose a threat.

When we come across Assistance Dogs, we do not approach them because they are working hard to help their partners. We should not distract them as this could cause an accident.

During this conference, there will be a number of opportunities to interact with Assistance Dogs, including a street parade. I hope you will take advantage of these opportunities to deepen your understanding of Assistance Dogs through direct interactions with partners and dogs.

Ashiya City is working to become a welfare city where citizens with and without disabilities can thrive by achieving their potential in the communities they know and love. This year, we are focusing on safety and a safe and favorable environment by creating barrier-free streets.

The City of Ashiya declared itself a Garden City in January 2004. Our goal is to create a clean community full of flowers to welcome people from all over the world. Ashiya is blessed with the Rokko Mountains to the north and the Seto Inland Sea to the south. Please enjoy our beautiful streets and breathe in the scent of our trees and flowers.

I would like to congratulate all those involved, including the Japan Hearing Dogs for Deaf People, for organizing this conference. I wish you all the best in promoting awareness and the use of Assistance Dogs.





この刺激的な機会を歓迎します

国際補助犬パートナーズ協会
会長 Toni Eames

2010年10月29日から10月31日まで、日本の盲導犬や聴導犬、介助犬の使用者が、補助犬による恩恵をたたえるために（兵庫県芦屋市に）集まります。補助犬の効用は、今まで以上の自立や可動性、そして（パートナーの）安全と生活の質の向上をもたらすものです。

補助犬パートナーが、この意義深い国際会議において、おのおのの体験や情報交換、住居環境などへの同伴にかんする問題点について討論することで、さらに日本における将来の補助犬普及活動の展望につながることでしょう。

（福）日本聴導犬協会のCEOであり、会長である有馬もとは、第1回および第2回「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議」in 兵庫の総合プロデューサーです。彼女の招きにより、IAADP（国際アシスタンス・ドッグ・パートナー協会）の5名がこの会議に積極的に参加することになりました。

IAADは、世界中の補助犬パートナーから組織される「障がいのある消費者擁護」団体としては最大の国際組織です。世界20カ国以上、補助犬パートナー3000名が加盟し、創設から16年目を迎えます。IAADPは、国を問わず補助犬普及活動を推進するために創設されました。

私は、IAADPの会長として日本の仲間たちと共に、その考えや体験にかかわる情報を交換できる、この刺激的な機会をよろこばしく思っています。

私は、我々障がいのある者たちと補助犬との関係をたたえるために、そして将来を語り合うために、日本で障がいのある人々が集うという極めて重要な好機を喜ばしく思っています。

協働することで、日本の補助犬パートナーたちは、障がいのある人々のアクセス権へとつながるであろう社会からの尊重を勝ち得られるといった、多くの価値ある目標を達成することになるでしょう。

加えて、障がい者の団体は、当事者主権や自主決定、自己選択ののためにまい進しなくてはならないのです。

International Disability Community Hails Second IADP Conference in Hyogo

Toni Eames, President
International Association of Assistance Dog Partners(IAADP)

From October 29-31, 2010 disabled Japanese people partnered with guide, hearing and service dogs will meet to celebrate the benefits of working with canine assistants. Among these benefits are greater independence, mobility, safety and an improved quality of life. Those gathering for this significant event will exchange life experiences, discuss issues of access to public accommodations and look to the future of the assistance dog movement in Japan.

Moto Arima, Executive Director of Japan Hearing Dogs for Deaf People, is the General Producer of this conference. At her invitation, five members of the the International Association of Assistance Dog Partners will be active participants in the conference.

IAADP, the largest cross-disability consumer advocacy organization of assistance dog partners in the world with more than 3,000 members from more than 20 countries is celebrating its 16th anniversary. IAADP was initiated to foster the assistance dog movement throughout the world.

As President of IAADP, I welcome this exciting opportunity to exchange ideas and experiences with peers in Japan.

I welcome this momentous opportunity to meet with disabled persons in Japan to celebrate our relationship with our assistance dogs, and to discuss the future.

By working together, Japanese partners could accomplish many worthwhile goals, such as winning societal respect for the access rights of disabled people. In addition the disabled community must strive for autonomy, self-decision and self-choice.





補助犬が、いかに障がいのある方たちの生きる力となり、励ましになることか

実行委員長 大川 瑜美子

所属するライオンズ国際協会の活動の中、7、8年前に聴導犬と出会い、日本聴導犬協会を支援するようになりました。

また「全日本聴導犬ユーザーの会」の岸本宗也会長や聴導犬みかんのユーザーである岸本淑子様と出会い、聴導犬をも支援するきっかけになりました。そんな中、聴導犬とユーザーさんとの温かみでやさしい関係に感動を受け、補助犬たちが障害ある方たちと共に生きる力となり、励ましになることに強い感銘を受け、ますます支援をする決心が固まりました。

日本聴導犬協会支援のなか、関西事務所を芦屋に開設するはこびとなり、支部長を拝命いたしました。更に今回の第2回「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議」in兵庫の実行委員長を仰せつかることとなり、任務の重さに戸惑っております。

国際会議ということで海外の重要なお客様をお迎えする関係上、今年6月にカナダでのADI (国際アシスタンス・ドッグ協会) 総会に参加させていただきました。会場には、100名ほどのアシスタンス・ドッグ (身体障害者補助犬) 育成団体関係者が集まり、癲癇 (てんかん) などの最新医療や障がいについて、学んでおられました。また犬の高度な訓練についてなど、2日間にわたって研修を受けておられました。

その会場にも数十頭の補助犬が参加していましたが、Toni会長をはじめとして、ユーザーの足元で、マナー良く、まるで1頭もいないかのような静かな姿で同伴していました。人と犬との一心同体のその姿に「補助犬は、素晴らしい」と、なおさら深い感銘を受けました。

国際会議が我が町・芦屋で開催させていただき喜びと共に、実行委員の皆様と様々な準備をした今日までの日々がとても楽しく、頼もしく、大切な思い出となりましたことを、改めて御礼申し上げます

最後に当会議を推薦してくださいました推進委員の皆様、実行委員会、ボランティアの皆様、ご来場の皆様、ご支援の皆様へ心から感謝を申し上げますと共に皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げます。

How much strength and encouragement the Assistance Dogs can give to the partners.

Yumiko Ookawa, President, Executive Committee

I met a hearing dog 7 or 8 years ago while I was participating in the activities of the Lions Club International, and I have been supporting the Japan Hearing Dog for Deaf People.

I also met the president of the Japan Hearing Dog Patners Association, Mr. Souya Kishimoto, and Ms. Yoshiko Kishimoto, the user of the Hearing Dog Mikan. I have since been supporting Assistance Dogs as well. It is moving to see the warm and kind relationship between Assistance Dogs and partners, and I was so impressed how much strength and encouragement the Assistance Dogs can give to the partners. I am determined to continue supporting them.

It was decided to open the Kansai Office of the Japan Hearing Dog fro Deaf People in Ashiya City and I have the honor to be nominated as the branch director, and as the executive director of the Second International Conference of Assistance Dog Partners in Hyogo.

I attended the general meeting of the ADI held in Canada in June.

There were about 100 participants in the meeting who are involved in the development of assistance dogs. They were leaning about the latest medical findings and disabilities, such as epilepsies. They also received a two-day training on advanced dog trainings.

There were several tens of Assistance Dogs at the meeting. They were so well behaved and quiet that we could hardly hear them. I was really impressed to see that the partners and Assistance Dogs were perfectly together.

I am really pleased that Ashiya City is hosting this international conference. I share fond memories of various activities with all the members of the executive committees. I would like to thank everyone.

I would also like to express my appreciation and heartfelt gratitude to everyone in the steering committee, executive committee, volunteers, participants, and supporters. I wish you a healthy and happy life.



健全な補助犬普及をめざして、 おおいに語り合いましょう

大会副実行委員長 藤本 泰雄

六甲の山々も少し秋めいたこの時季に芦屋の地で第2回IADP会議in兵庫が開催できましたことは実行委員会一同喜びにたえません。

第1回は、2004年長野県松本市で開催され、私も参加させて頂いておりました関係で第2回「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議」 in 兵庫の副実行委員長の大役を拝命することとなりました。

日本におきまして身体障害者補助犬法が施行されてより早や8年が経過致しましたが、目の不自由な方の盲導犬は、少し認知されてきている様に思いますが、耳の聴こえない方の為の聴導犬、あるいは身体の不自由な方の為の介助犬はまだまだ認知度が低いと思います。

犬は古来、狩猟犬や牧羊犬として又、家族の一員として人間と深いかわりを持ってまいりましたが、近年は、眼となり耳となり、又、手足となって、日々の生活を支え従順で癒しを与えてくれるよう専門的に訓練され、障害者福祉の中で少しずつではありますが発展拡充されつつあります。

アメリカ、カナダからIAADP(国際補助犬ユーザーの会)の会長や役員の方々をお招きし、アメリカやカナダにおける現況や世界の趨勢等のお話を伺い皆様と共に今後を考えたいと存じます。

健全な補助犬普及をめざし大いに語り合いましょう。

多数のご来場を感謝申し上げますと共に、皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。

祝

第2回 国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議 in 兵庫

財団法人 **中内カ コンベンション振興財団**



〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目10-1 ポートピアホテル内

TEL (078)303-8111/FAX (078)303-4800

Our discussions will lead to a sound development of Assistance Dogs Movement.

Yasuo Fujimoto, Vice-president, Executive Committee

It is a great pleasure to welcome you to the Second International Assistance Dog Partners Conference in Hyogo here in Ashiya City at the foot of the Rokko Mountains in this beautiful season.

The first conference was held in Matsumoto in 2004, and my participation in the conference has continued to the second conference as the vice-president of the executive committee.

Eight years have already passed since the implementation of the Law of Assistance Dogs for Persons with Physical Disabilities in Japan. While guide dogs for the blind seem to receive better recognition than before, Hearing Dogs or Service Dogs are not yet well recognized

From the ancient times, dogs have been deeply involved in human life as hunting or shepherd dogs, or as family members. In recent years, dogs are professionally trained to serve as eyes, ears, hands, or feet. They support and offer healing to the persons with physical disabilities in everyday life, and their role is gradually increasing.

We would like to hear the president and members of the International Association of Assistance Dog Partners about the present situation in the USA and trends in the world. Our discussions will lead to a sound development of Assistance Dogs Movement.

We really appreciate the participation of all of you, and wish you a good health and happiness.

盲導犬、聴導犬、介助犬は総称して「身体障害者補助犬（通称：補助犬）」と呼ばれます
国際的には「アシスタンス・ドッグ」になります

● 海外の補助犬ユーザー紹介 ●

2004年松本市補助事業として第1回「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議」in 松本を、推進委員会・名誉会長 田中康夫元長野県知事のもと開催。力添えを得たIAADP（国際アシスタンス・ドッグ協会：世界20カ国3000名の会員数を誇る世界最大の補助犬ユーザーの会）から、6年後の2010年もご高配をいただくことで、芦屋市民を中心とする実行委員会により第2回「国際会議」を開催できました。深甚なる感謝を申し述べると同時に、このページをお借りして、IAADPの元会長であり、補助犬パートナーの師とあおぐDr Ed Eamesに追悼の意を表します。また、魂はMrs Jill Expositと共に、この会議に参加しているはずの聴導犬ウリアに、これまでの感謝を表するものです。

- **エドウィン・イームズ博士**…IAADP前会長。盲導犬ユーザー。カリフォルニア大学ブエナ校助教授。世界最大の補助犬パートナーの会の前会長。IAADPを1993年に創設。2004年に開催した第1回国際会議では、日本の補助犬ユーザーを喚起するさわやかな弁舌で会場を魅了した。第2回の国際会議を待ち望んでいらしたが、2009年10月に急逝。ご冥福をお祈りします。



- **トニー・エイムズ**…IAADP会長。盲導犬ユーザー。ジャーナリスト。エドウィン博士夫人。博士と共にIAADPを育ててきた。障がいのある方々のエンパワメントのためにレクチャーや擁護活動を積極的に行う。ジャーナリストとしてのきわだった活動に1998年米国のナショナル・ホールに殿堂入りした。

- **デボン・ウィルキンス**…IAADP理事。カナダ盲導犬使用者の会副会長。同会機関紙「ハーネス」編集長。カナダ・アシスタンス・ドッグ協会会長。盲導犬ユーザー。ジャーナリスト。イームズ博士夫妻とともに、IAADPの推進役として活躍してきた。



- **ジル・エクスポジット**…IAADP理事。聴導犬ユーザー。全米の聴導犬育成団体を調べ、CCI（世界最大の介助犬育成団体）を自己選択し、聴導犬ウリアを貸与される。聴導犬普及のための啓発活動や、講演会に積極的に活動している。

- **キャラ・ミラー**…聴導犬ユーザー。生まれつきの重度難聴者。世界で唯一の聴覚障がい者のための大学であるギャロデット大学（ワシントン）臨床心理学専攻において博士号取得。聴覚障がい児向けの教育について米国議員向けの発表も行う。聴覚障がいのある青少年に関するコミュニケーションや社会的アイデンティティ、教育などに関する出版と講演会を行う。





- **ウォーリス・ブロスマン**…介助犬ユーザー。ウィートン大学で化学を。神経生物学と野生生物学をカリフォルニア大学デービス校で学び、近年、米国手話でギャロデット大学で学位をとる。筋ジストロフィーのため車椅子を使用。世界最大の介助犬訓練所CCIから介助犬キャスピンを貸与される。CCIで研修を受けている。近々に、ナショナル・ジオグラフィックで紹介される予定。

Keynote (基調) 講演

- **コーリー・ハドソン**：1990年にCCIのCEOとして就任。前職は1700名のスタッフを抱え予算17億円という大病院の事務局として手腕を振るっていたが、卓越した能力をもつ犬たちが障害を抱えた人々をサポートする補助犬の姿に感銘を受けた。CCIへの彼の就任後、訓練プログラムは促進され、貸与数が2倍となり、収入も飛躍的に伸びた。CCIの大規模な経営改善を企った。支援者の一人にスヌーピーの原作者チャールズ・M・シュルツ氏がいる。1995年からADIの理事に就任。ADアメリカの会長でもある。



大川瑜美子実行委員長と

● 日本の補助犬ユーザー紹介 ●

- **清水和行**…全日本盲導犬使用者の会会長。広島県立広島中央特別支援学校（盲学校）教諭。盲導犬ユーザー。2002年に身体障害者補助犬法が成立して以来、盲導犬・聴導犬・介助犬使用者は、同じ補助犬というパートナーの力によって社会自立する仲間となりました。しかし、社会的にはまだまだマイノリティな存在であるばかりか、補助犬使用者自身もお互いに知らないことが多いのが実態だろうと思います。このIADPが補助犬使用者間の理解を深めるとともに、広く社会にアピールする場になることを期待しています。

- **岸本宗也**…全日本聴導犬ユーザーの会会長。画家。聴導犬ユーザー。6年前に松本。2年前にロンドンで、IAADPの前会長 Ed Eames氏に出会い話をしました。手話通訳と英語通訳の2段階を経てです



が、共に信じることは、補助犬の目的が私たち障害のある者たちの「自立と社会参加」ならば、その選択についても行政や医療関係者に頼るのではなく、自分自身で調べ、納得し、共に生活する補助犬を選ぶべきだということです。たとえ、紆余曲折があったとしても、そのプロセスこそ、自立や社会参加のためのステップであり、実践であると信じます。補助犬と暮らすか否か、医療関係者に助言を請うのか否か。それを決めるのは、私たちです。それらの選択と、伴う決定を障害者にゆだねるこそが、真の障がい者支援につながると信じております。

- **桑原彰三**…車椅子・福祉機器専門店HandreamWorks!。介助犬ユーザー。現在、国内の福祉政策は大きな転換期にきています。そういったなか、様々な生き方が、様々な選択肢の中から選ばれる様になりました。「補助犬との生活」もその一つで、海外では、もはやグローバル・スタンダードになりつつあります。国内においても、補助犬の普及が更に進み、世界屈指の高齢化社会・日本のスタンダードが「世界標準」になれよう、今回の国際会議に期待しています。

「共生、共感、協働」

共に生きる、共感をもって、より良い環境を目指して協力して働く

総合プロデューサー 有馬もと

この時代、この時を共に過ごしているからこそ、私たちにできることは、障がいがあるなしにかかわらず、共に生き、共感をもって、より良い環境をめざして協力して働く。それこそが、障がいのある人にも、ない人にとっても「やさしく、生きやすい社会」創りとなるのではないのでしょうか。

「Nothing About Us, Without Us」(私たちぬきに、私たちのことを何も決めるな)。

ジェームズ・チャールトンはその書の中で、障がいをもつ人の権利について主張しています。医者やリハビリテーション関係者など、専門家と呼ばれる人たちに、住まいや生き方までも決められてきた時代が、障がい者にはありました。補助犬は、新しい福祉です。専門家の選択ではなく、当事者である障害者の方々が自己選択し自己決定できる補助犬の貸与システムこそが、真の障害者支援であり、自立や社会参加を前提とした補助犬との生活という「自己実現」(障がい者エンパワメント)につながると信じます。

2003年10月に身体障害者補助犬法という、世界にも類のない法律が施行されました。盲導犬に加えて、聴導犬や介助犬にとっても、公的な場所への同伴できる権利は、ユーザーとなる聴覚障がいや肢体障がいの方々にとって、補助犬を通じた「人権獲得」といえるでしょう。補助犬を選ぶか否か。補助犬とどこに行くかを決めるなど、それらは法律によって保護された人権なのです。

当会議は、補助犬と生活するユーザー、受け入れ側となる社会、支援する医療サイド、そして補助犬育成団体が共に考え、情報の共有によって今後の補助犬普及の道標を見出すものです。地域を問わず、補助犬業界にとって、当事者であり主権をもつのは「障がいがある方々」です。それらの当事者主権による究極の目的である、ユーザーの安心感や満足感、幸福感を補助犬との生活で得られるために、訓練、供給、受け入れなど、さまざまな分野で、今、私たちがしなくてはならないことを模索する会議です。

みなさまからのご支援を補助犬の健全な普及に頂戴できますことに、深く御礼申し上げます。また、今回の推進委員および実行委員の方々との1年以上にわたる検討会、企画と運営ができましたことに、言葉にならないほどの幸福を感じております。

2010年10月29日

Coexistence, Empathy and Collaboration

Live together with empathy and work together towards a better world

Moto Arima, General Producer

We share the time and space regardless of disabilities, and we will create an inclusive environment by living together with empathy and working together towards a better world.

“Nothing About Us, Without Us,” claimed James Charlton in his book on the rights of persons with disabilities. There was a time when their life was determined by physicians or those involved in rehabilitation. Assistance Dogs are the new form of welfare for persons with disabilities, where they are able to choose and make decisions for themselves. In this way, Assistance Dog supply system is the true support system for the disabled that will lead to their empowerment, enabling them to participate in the social communities and be independent.

In 2003, the Law of Assistance Dogs for Persons with Physical Disabilities, a unique law in the world, was implemented. The Law made it possible for the persons with physical disabilities to accompany not only Guide Dogs for the blind but also Hearing Dogs for deaf and Service Dogs for physical disabilities in public. It has established the human rights for the persons. It is the rights protected by the law whether a person with physical disabilities chooses to be accompanied by an Assistance Dogs or not, or where he or she decides to go.

The purpose of the present conference is to identify future milestones by exchanging and sharing information among users living with Assistance Dogs, the public, the medical community, and Assistance Dog development organizations. It is a conference held by the disabled to find ways and seek solutions in various areas, including training, supply and reception of Assistance Dogs for the ultimate goal of creating a safe and fulfilling society where the disabled may live happily with Assistance Dogs.

We are very thankful for your support for a sound development of Assistance Dog programs. Personally, I don't know how to express my pleasure to have been able to work with executive committee members through numerous meetings and discussions in planning and managing the conference for over a year.

This is and was my great honor to be with you. Thank you very much.

祝

第2回国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ 会議 in 兵庫

ライオンズクラブ国際協会 335-A 地区 1R・2Z

神戸あじさいライオンズクラブ



We Serve

<我々は奉仕する>

わたしたちは補助犬を応援します

チャリティーバザー（事業資金獲得の為）

※ 入場無料 ※

2010年11月30日（火）11:00～15:00

会場：神戸ポートピアホテル本館 B1 階

TEL (078) 302-1111 (代表)



神戸あじさいライオンズクラブ

事務局 TEL (078) 303-4354 FAX (078) 303-8859

神戸あじさいライオンズクラブホームページ <http://kobe-azisai.hp.infoseek.co.jp/>

バザーの最新情報は随時ウェブサイトで紹介します。

THE TANABE BLDG.

祝 国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議 in 兵庫

株式会社 ザ・タナベカンパニー

〒541-0044 大阪府中央区伏見町2-6-6 ザ・タナベビル702
TEL&FAX:06-6222-5626

第2回 「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議 in 兵庫」開催
お祝い申し上げます。加えて、ご支援者のみなさまに感謝申し上げます

<聴導犬と介助犬の認定と訓練ができる補助犬育成団体です>

厚生労働省認定社会福祉法人 厚生労働指定法人
日本聴導犬協会 関西支部

支部長：大川瑜美子

住所：兵庫県芦屋市松ノ内6-7

Fax:0797-35-3225

E-mail : iadpinashiya@hearingdog.or.jp

<http://www.hearingdog.or.jp>





私たち、
大阪コミュニケーションアート専門学校は
国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議
を応援しています。



大阪コミュニケーションアート専門学校は、ペット・動物・海洋・自然・農業・フラワー業界と共に「人に喜びと感動を与えられる」人材を育成しています。



学校法人 コミュニケーションアート

大阪コミュニケーションアート専門学校

〒550-0013 大阪市西区新町 1-32-1

☎ 0120-141-807

☎ FAX 06-6536-4610

🌐 ホームページ <http://www.oca.ac.jp/eco/>

📱 携帯 web サイト <http://oca.ac.jp/eco/>

✉ E-mail ecoinfo@oca.ac.jp



あの「おすわりくん」に スティックタイプが新登場!

スナック両面を波形に加工しました。

カンタンにちぎれるので、与える回数やワンちゃんの体格に合わせて大きさを調整できます。

健康維持に必要なオリゴ糖やカルシウムを配合したごほうびスナックです。

合成着色料・保存料無添加



おすわりくん
スティックタイプ

ビーフ

嗜好性の高いビーフの美味しさを活かしたスモーク風味のスナックです。良質な動物性たん白質を含み、ワンちゃんの健康を支えます。



おすわりくん
スティックタイプ

ササミ

低脂肪で良質なたん白質を含む鶏ササミを使用。スモーク風味のスナックに仕上げました。



おすわりくん
スティックタイプ

ライト

低脂肪・高たん白な鶏ササミをベースに食物繊維を配合した、スモーク風味のスナックです。ビーフ、ササミに比べ、カロリー控えめなスナックなので肥満気味のワンちゃんにもおすすめです。

食物繊維入り

デビフは
国産品

■ 犬用スナック

■ 内容量：各 40g

■ 標準小売価格：各 241 円 (税込)

※100g当たり：ビーフ(270kcal以上)、ササミ(260kcal以上)、ライト(210kcal以上)/当社比



デビフペット株式会社

〒950-1115 新潟市西区鳥原1815 (お問い合わせ先)：TEL (03) 3941-4171 (代) <http://www.dbfpet.co.jp/>

祝

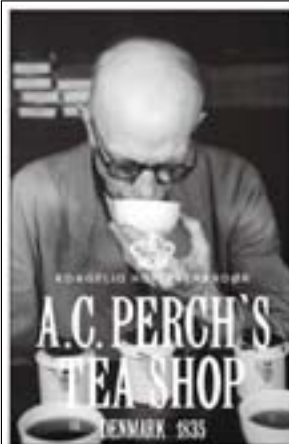
第2回「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議」in兵庫

品質を重視した筆を作り続けて50数年。
USUIは世界中のアーティストのために、存在しています。



画筆/化粧筆 製造・輸出
薄井興産株式会社

兵庫県神戸市東灘区御影本町5丁目3-22 <http://www.b-r-s.jp/>



A.C.パークス紅茶店 デンマーク王室御用達 170年 老舗紅茶専門店
JR 芦屋駅前店



岡田美里がプロデュースしました。
ティーインストラクターが
美味しい紅茶をいれております。

営業時間 11:00-18:00
定休日 火曜日・祝祭日

兵庫県芦屋市大原町 5-4
TEL.0797-35-7877
www.perchs.jp





神戸須磨ライオンズクラブ

クリーン
ハイキング



ちびっ子
サッカー大会



カブトムシ
幼虫配布



事務局

〒650-0042

神戸市中央区波止場町5-4 中突堤中央ビル3F

TEL(078)325-0720 FAX(078)325-0721

E-mail k-sumalc@orion.ocn.ne.jp

大阪平成中村座

《十一月大歌舞伎》2010年11月2日(火)初日~26日(金)千種楽

※松席・竹席(一階)をご用意しております。詳しくはお問合せください。

観劇チケット付き宿泊プラン

- スーパーアツイン ¥37,000~
- ジュニアスイート ¥47,000~
- エグゼクティブスイート ¥55,000~

※2名様1室ご利用時・1名様料金



- ・ニューオータニ特製幕の内弁当
- ・オリジナル手ぬぐい
- ・ホテルより劇場近くまでのタクシー手配(片道)

[ご予約・お問合せ] TEL.06-6949-3232
(10:00a.m.~6:00p.m. ルームリザーベーションズ係直通)

日帰りプラン

観劇チケットとニューオータニ特製幕の内弁当がセットになったお得なプランです。

1名様 ¥21,000

[ご予約・お問合せ] TEL.06-6949-3229
(10:00a.m.~6:00p.m. レストラン総合案内直通)



「平成中村座」が
8年ぶりに大阪に帰ってきました。



中村勘三郎



※写真はイメージです。

※お弁当は劇場までお届けいたします。※お申し込み後の変更、お取り消しはお受けいたしかねます。

〒540-8578 大阪市中央区城見1丁目4番1号 TEL. 06-6941-1111(代表) www.newotani.co.jp/osaka/

JR大阪城公園駅より 徒歩約3分 / 地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅より 徒歩約3分

The New Otani
ホテル ニューオータニ大阪

祝 第2回「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議 in 兵庫」開催

藤本歯科医院

院長 藤本泰雄 (芦屋ライオンズクラブ)
副院長 藤本俊雄



住所：兵庫県芦屋市大原5-2 ポトラビル4F

電話：0797-31-4193

Net One 祝

総合不動産管理業

～「何でもご相談下さい」を私はモットーとしております。～

- テナントビル・医療ビル・福祉関係施設・分譲及び賃貸マンション・駐車場等の管理
- 不動産の売買・賃貸・管理及びコンサル
- 建設工事の設計・施工・管理及びコンサル
- ホームページの作成業務
- 安心院「美心水」の販売
- 法律・税務相談等「土」業へのアウトソーシング

有限会社 **ネットワン**

代表取締役 **畑野 文雄** (大分県佐伯市出身)

〒569-0804 大阪府高槻市紺屋町7番27号桃陽ビル302号 TEL.072-681-8820 FAX.072-681-8883

<http://www.netone-inc.net/>

祝

第2回 国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議 in 兵庫



ライオンズクラブ国際協会335-A地区4R・1Z

【芦屋ハーモニーライオンズクラブ】



We Serve 聴導犬・介助犬の応援をしています

ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体です。芦屋ハーモニーライオンズクラブは地域の青少年育成事業、障がい者福祉事業等すべてに愛をもって活動している女性クラブです。

事務所: 〒659-0085 芦屋市西芦屋町2-3-102

Tel&Fax:0797-62-7108

E-mail:a.harmony.lc@key.ocn.ne.jp

祝

国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議in兵庫

- 社団法人 全日本不動産協会会員
- 全日本不動産近畿流通センター会員
- 建築業許可/大阪府知事(般-14)第51955号
- 宅地建物取引業免許/大阪府知事(7)第26218号

大阪府高槻市で地域密着! 創業32年の信頼と実績



浪速工務店

戸建分譲/リフォーム

〒569-0056 高槻市城南町1丁目2-21

TEL.072-676-3232/FAX.072-675-3824

<http://www.naniwakoumuten.com>

浪速工務店に
アクセスはこちら

浪速工務店

検索

☎0120-072-839

※携帯電話からご利用できます。

祝

国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議in兵庫

創業45年の信頼と実績で地域の街づくりに貢献



住宅・店舗・ビル
マンション・医療施設

千里ハウジング株式会社

〒569-0814高槻市富田町1-4-20

TEL.072-694-4700/FAX.072-695-4730

<http://senrihousing.ecgo.jp>

☎0120-65-8282

第2回 国際アシスタンス・ドッグパートナーズ会議 in 兵庫
開催おめでとうございます

おいしい品質
Q・B・B

Quality's Best & Beautiful

アスパラドリンク



岸齒科医院

岸 直樹 岸 直徳

住所: 大阪市西淀川区竹島 3-5-13

T: 06-6471-2426

F: 06-6473-6707

鮨 恵ベっさん
明石鮮魚

〈営業時間〉

昼の部 ... 11:30 ~ 14:00

夜の部 ... 17:00 ~ 23:00

〈定休日〉

(LO/22:30)

毎週月曜日

- ・ 海鮮料理・新鮮にぎり
- ・ 会席 ・ 各種ご宴会
- ・ お昼の定食
- ・ お持帰り寿司

TEL.078-857-5711

〒658-0054 神戸市東灘区御影中町 6-1-1



南フランス・プロヴァンスのペベオ絵具
美しい色彩であなたの暮らしをもっとステキに

ペベオが作り出す絵具の最大の特徴は、南フランス・プロヴァンス地方ならではの地中海の温暖な自然が育んだ、豊かで美しい色彩です。多くのアーティストに愛され続けている、最高級ラインの油彩・水彩絵具「フコナール」をはじめとして、暮らしを豊かに彩る陶器・ガラス用絵具「ポーセレン 150」や「ヴァイトリア 160」、多くの布素材に自由に描くことができる「セタカラー」などにも、その美しい色彩は息づいています。上質さ、機能性の高さ、そして何より美しい色彩で愛され続けているペベオ社の絵具たち。今日では、アメリカ、カナダ、イギリス、イタリア、スペイン、ドイツ、中国、そして日本に拠点となるオフィスを構え、世界100ヶ国以上の国々で愛されています。



ペベオ・ジャパン株式会社
〒658-0046 神戸市東灘区御影本町 3 丁目 4-20
TEL.078-841-4314 HP: <http://www.pebeo.co.jp>
お問い合わせ: contact@pebeo.co.jp

MIZUHO みずほインベスターズ証券

神戸支店 078-331-4621
プラネットブース 芦屋
プラネットブース 明石
プラネットブース 神戸

URL <http://www.mizuho-isec.co.jp/>

コールセンター 0120-555-324

あらゆる保険の手配をおまかせ下さい

私たちは、お客様の保険代理人であることをお約束いたします。

“一人を、ひとつを ありがとう”



リスクマネジメント / 損害・生命保険代理店業務
株式会社 **インシュランス サービス**

e_mail info@ins.jp URL <http://www.ins.jp>

● 本 社 〒659-0094 兵庫県芦屋市船場1-1-10 5F 5階 TEL 078-331-8000 FAX 078-331-8005	● 東京支店 〒160-0004 東京都新宿区西新宿1-1-15 アーバンビルサカサ 5階 TEL 33-3256-3233 FAX 33-6803-4881	● 名古屋支店 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-4-5-19 高山ビル4F TEL 22-1881-8234 FAX 22-561-3333
---	--	---



味の感動を伝えるー。
エムシーシー食品株式会社
 MCC FOOD PRODUCTS CO., LTD.

世界のホテルブランド
 「NOVOTEL」日本第一号



ノホテル甲子園

阪神甲子園駅西口より徒歩2分

西宮市甲子園高潮町3-30
 TEL: 0798-48-1111

<http://www.novotelkoshien.com>

朝日をもっとおいしく
meiji



原 辰徳
 新・健康生活
 はじめる



1日分の
 カルシウム
 約700mg

1日分の
 鉄分
 約7.5mg

1本で1日分の
 カルシウムと鉄分。*1

明治 **新発売**
ミルクで元気
 〈低糖質〉*2 乳飲料/180ml

*1 1年連続販売量第1位(日本人の食生活改善率(2005年度版)より) *2 5.1g糖質/100ml(糖質)
 月極めでご自宅までお届けいたします。お問い合わせは、こちらへ **ミルク**

明治の宅配サービス ☎ **0120-088-369**

健康プラザ ▶ <http://takuhai.meinyu.jp/> 明治乳業株式会社



社会福祉法人 **きらくえん**

下町のノーマライゼーション

喜楽苑 〒660-0807 尼崎市長洲西通 2-8-3

ハードから人権を守る

いくの喜楽苑 〒679-3323 朝来市生野町竹原野 240

福祉は文化

あしや喜楽苑 〒659-0043 芦屋市潮見町 31-1

全室個室・ユニットケア

特養ホームを地域のケア付住宅に

けま喜楽苑 〒661-0982 尼崎市食満 2丁目 22-1



～医療機関の支援を通じて社会に貢献する～

株式会社ジェービーエス

兵庫県神戸市中央区加納町 4-10-16

TEL: 078(335)2677 FAX: 078(335)2678

<http://www.jbs-wa.co.jp>

Plusui (プラスイ)

水からこだわるスキンケアシリーズ

上質な天然成分をぜいたくに配合。機能性、即効性を高めるハイテク美容成分をプラスした神戸生まれのアンチエイジングスキンケア。



Plusui

【販売元】田嶋 株式会社

TEL: 078-251-2231

(平日 10:00~18:00)

神戸市中央区磯辺通 4-2-8

www.plusui.jp

祝

IADP会議 in 兵庫

あおぞら司法書士法務総合事務所

司法書士 山内 鉄 夫 (大阪司法書士会会長)

TEL: 06-6881-7711 <http://www.sky.gr.jp/>



味と品質に自信



こだわりの豆菓子、ナッツ、ドライフルーツでおなじみの
 ありまほうこうどう

株式会社 有馬芳香堂

<http://www.arima.co.jp>

本社・工場
 兵庫県加古郡稲美町加古3627-3 〒675-1105
 TEL 079-492-0055(代) FAX 079-492-0056

神戸オフィス
 神戸市兵庫区下沢通7-1-2 〒652-0047
 TEL 078-577-3581(代) FAX 078-577-5377

第2回「国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議」 in 兵庫

支援団・実行委員会

名誉会長	井戸 敏三	兵庫県知事
会長	山中 健	芦屋市長
顧問	藤原 周三	芦屋教育長
	城 純一	芦屋市観光協会会長
	武田 寿子	神戸YMCA理事長
	木口 一郎	木口財団専務理事
	森本 克幸	ライオンズクラブ国際協会335A地区ガバナー
	石本 章宏	同地区前ガバナー
	多田 羅猛	芦屋市歯科医師会長
	鈴木 紀元	芦屋市医師会会長
	小田 脩造	芦屋商工会議所
	本庄 昭	神戸市医師会 会長
実行委員長	大川瑜美子	日本聴導犬協会 関西広報支部長
副実行委員長	藤本 泰雄	歯科医師
実行委員	大橋 文人	大阪府立大学教授
	田上貴久美	(福)兵庫盲導犬協会施設長
	旗谷 昌彦	神戸市獣医師会元会長
	大前 繁雄	元衆議院議員
	田邊 芳美	会社役員
	芦田 和子	U.L.E.F.スリランカ教育基金代表
	岸 壽子	芦屋ハーモニーLC初代会長
アドバイザー	中島かおり	芦屋市議会議員
総合プロデューサー	有馬 もと	(福)日本聴導犬協会会長、 国際アシスタンスドッグ協会元理事 ADJ(アシスタンス・ドッグ・ジャパン)会長
事務局長	MAYUMI	(福)日本聴導犬協会理事
事務局スタッフ	矢澤 昌子	同協会訓練主任
	佐橋 菜月	同協会スタッフ
	学院生	日本聴導犬・介助犬訓練士学院

■ 超党派議員支援団 ■

支援団	田中 康夫	衆議院議員(新党日本)
	石井 一	参議院議員(民主党)
	末松 信介	参議院議員(自由民主党)
	大前はるよ	兵庫県議会議員
	木野下 章	芦屋市議会議員
	前田 辰一	芦屋市議会議員
	都筑 省三	芦屋市議会議員
	中島かおり	芦屋市議会議員
	安井 俊彦	神戸市議会議員(自由民主党)
	横畑 和幸	神戸市議会議員(民主党)
	川原田弘子	神戸市議会議員(民主党)
	大寺まり子	神戸市議会議員(民主党)
	むらの誠一	神戸市議会議員(自由民主党)
	橋本 健	神戸市議会議員(自由民主党)
	井坂 信彦	元神戸市議会議員(みんなの党)

(敬称略、順不同)
(無断転載コピー厳禁)



第1回国際補助犬パートナーズ会議 in 松本 チャリティ食事会

日本から世界へ JCRのバイオ技術で新たな未来を



研究所(神戸市 西区)



神戸工場(神戸市 西区)



日本ケミカルリサーチ株式会社

兵庫県芦屋市春日町3番19号 TEL0797(32)8591

<http://www.jcrpharm.co.jp/>